

# 「健康・省エネのための住まいを推進するシンポジウム IN 経団連」開催計画

特定非営利活動法人 シックハウスを考える会  
安全な住環境に関する研究会

## I. 開催趣旨及び目的

近年、地球環境問題がグローバルな課題となり、京都議定書の発効国としての日本の行動が世界的にも注目されている。しかし、現実にはCO2削減どころか温室効果ガスの排出量は6パーセントも増加しており、国が産業界に行う削減要請にも限界を唱える財界人も少なくない。一方、家庭部門でのCO2の排出量は30パーセント以上も増加している。

このような中で、企業や業界の対策のみに頼るのではなく、消費者団体や医療関係者が一緒になって、健康に有意義な省エネ住宅・省エネ改修の普及促進を訴えることにより、民間における省エネ対策を促進していく必要がある。

特に、高齢者の暖房にかかる費用は一般の倍以上、住宅内の温度差（ヒートショック）が原因で亡くなる人は交通事故による死亡者の倍以上ともいわれており、それに起因する心臓病や脳血管障害等による要介護者の医療費・介護費も増大している。今後、高齢者の居住空間の温度差をなくすことは、正に「健康＝省エネ」そのものであると同時に、日本国民の「健康寿命」を延ばし、「医療費」、「介護費」及びそれらに対する家族の負担を減らし、新たに健康のための改修という事業を創出する可能性さえ示唆する。特に、断熱が不十分なバブル期までの日本の住宅の温度差問題が一つの課題でもある。またこれらの民間側からの動きが、日本の省エネ化ひいては地球温暖化防止にも大きく貢献することは言うまでもない。

これらの観点から、本シンポジウムでは関連省庁、産業界、医療界、消費者団体等から責任ある立場の皆様にお集まりいただき、「国民の生命財産を守り」「日本の地球環境問題における責任」「国民から信頼される健康＝省エネ改修等の仕組み」等について意見交換や協力体制の構築を目指すものとする。

## II. テーマ

「地球環境を守り、同時に国民の健康寿命を守るための住宅」

## III. 開催日時及び開催場所

1. 開催日時 平成20年6月3日（火） 13:00～17:00
2. 開催場所 経団連会館 経団連ホール  
〒100-8188 東京都千代田区大手町1-9-4  
TEL : 03-5204-1500 <代表>

## IV. プログラム 別紙の通り

以 上

## ＜プログラム＞（案）

開 会 13:00 開会の辞 NPO シックハウスを考える会理事長 上原 裕之氏  
 挨拶 安全な住環境に関する研究会幹事 志波 徹氏

各界挨拶 13:10 「地球環境を守り国民の健康を守る観点からの省エネ住宅国民運動  
 を期待する」  
 関係団体各位 各5分

基調講演 13:25  
 「温暖化対策と健康省エネ住宅の動向」  
 坂本 雄三氏（東京大学大学院建築学教授） 15分  
 「日本の住宅における省エネと健康と住宅性能に関する現状と問題点」  
 大滝 典子氏（有限会社親和創建取締役） 30分  
 「わが国における脳卒中の現状と予防のための住宅改善に対する期待」  
 北村 明彦氏（大阪府立健康科学センター健康開発部長） 30分  
 「安全な住環境に関する研究会の研究報告・今後の研究の方向性について」  
 岩前 篤氏（近畿大学理工学部建築学科准教授） 30分

休 憩 15:10

## パネルディスカッション

15:20 「地球環境を守り国民の健康を守る観点から省エネ住宅促進に向け  
 た国民運動推進について」 90分

パネラー 和泉 洋人氏（国土交通省住宅局長）  
 小林 光氏（環境省官房長）  
 西山 正徳氏（厚生労働省健康局長）  
 照井 恵光氏（経済産業省製造産業局次長）  
 横地 旦氏（前プラスチックサッシ工業会理事）  
 山本喜久治氏（日本化学エネルギー産業労働組合連合会総合研究所代表）  
 東瀬 幸枝氏（日本主婦連合会会長）  
 畑仲 卓司氏（日本医師会総合政策研究機構 主任研究員）  
 司会 上原 裕之氏（シックハウスを考える会理事長）

アピールー「国民の生命財産を守る上での省エネ化、健康・省エネリフォーム（住宅）の推進  
 のために関係者が十分理解しあい、協力関係を推進することをここに宣言する」

挨拶 16:50 今後の協力体制に関するアピール

閉 会 17:00 挨拶 安全な住環境に関する研究会顧問 今村 信和氏

総合司会 安全な住環境に関する研究会幹事 竹林 義晃氏